

県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 概要

日 時：令和2年4月23日（木） 11:00～11:30

場 所：青森市 青森県庁第3応接室

1. 会議次第

- (1) 市長会会長（青森市長）からのコメント
- (2) 町村会会長（階上町長）からのコメント
- (3) 意見交換
- (4) 知事コメント

2. 会議概要

○小野寺会長コメント要旨

- ・ 4月17日の市長会総会で国に対する緊急決議として10項目決議をしたところ。いずれの項目も国に対する決議ではあるが、国・県・市町村が連携して当たっていくことが大事なものばかりであるので、三村知事、そして県のお力添えをお願いしたい。
- ・ 市長会総会で各市長からたくさんの意見が出たが、一番は、県と市町村で連携して、一丸となってこの感染症対策に取り組むべきだということがすべての最大公約数。
- ・ 現在、各市においても独自の事業者支援策等、取り組んでいる状況。本県全体の経済は大変疲弊しているため、県におかれても、各市町村のそれぞれの自主的な取組についても支援について、おはかりいただきたい。

○浜谷会長コメント要旨

- ・ 国が緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大していく中であって、新型コロナウイルス感染症対策は、何よりも県と市町村が緊密に連携し、また、情報を共有することによって、初動対応にしっかりと取り組むことが大変重要であると認識している。
- ・ 県におかれては引き続き、保健所、各市町村及び医療機関等の連絡・連携体制の強化を図って、迅速かつ適確な情報共有をお願いするとともに、マスク・アルコール消毒液等の物資不足への供給支援、あるいは医療提供体制の確保等、十分にご配慮いただくようお願いしたい。
- ・ 県内町村の地域経済にも様々な業種において、大きな影響を及ぼし始めている。こういった中で、それぞれが町内の飲食店業者に独自に支援金を給付するなど、取り組みも見られているが、自治体間でそういった対応が異なるということに対して、少し不公平感をもたらしかねないということが大変懸念される場所。
- ・ このままでは、地域経済自体が壊れていく状況にあることから、感染拡大の影響を少しでも食い止めるべく、県内町村が実施していこうとしている地域経済を維持・回復するための主体的な取組については、強力にご支援していただきたい。

○市長会・町村会両会長からのコメントの後、三村知事からは「市町村の創意工夫に対し

ては、きちっと応えていきたい」との発言があった。

【意見交換】

○小野寺会長

- ・市長会総会において各市長からは、ビデオ会議を活用し、非常時においても県と市町村が連絡会議の場を設けることができる体制の整備を求める意見があった。

○三村知事

- ・5Gを見据えながら回線容量の問題や実際の設定と段取りについて検討させてもらう。

○小野寺会長

- ・感染症に関連する情報について、県と各市町村ができるだけ同じ情報を共有し、協力して当たれるようにしたい。

○三村知事

- ・適切な情報を適切に伝えるということはこれまでもしてきており、これからもしっかりとしていきたい。

○浜谷会長

- ・各町村からの意見として、県内自治体病院において防護服などの医療物資の不足にも直面しており、場合によっては外来受付の制限なども想定されかねないということもあるため、感染症対策に係る経費も含めて国の財政支援を求める。
- ・特別定額給付金（仮称）の手続きは、現場の市町村において混乱や過度な負担ができるだけ生じないようにできるだけ簡素化し、国の責任においてやっていただきたい。

○三村知事

- ・県としても市町村に対しての支援の在り方、また、経済の状況に対する支援の在り方等、今、本気で考えている。
- ・市町村独自の経済対策については、それぞれにいろんな工夫をしてくださっているので、そこにどう応えるかということも考えている。

○浜谷会長

- ・ぜひ県としても早急にアウトライン・ガイドラインを示してほしい。

○三村知事

- ・色々な例を今、企画政策部で考えている。

○最後に三村知事からコメントがあった。

- ・この難局を乗り切っていくためには、市町村をはじめとして、関係機関が密接に連携をして、一丸となって取り組んでいく必要がある。
- ・本日いただいた市町村の思いをしっかりと受け止め、何よりも感染拡大防止に万全を期すとともに、地域経済の回復あるいは県民経済の維持など、必要な施策を迅速かつ全力で進めていく決意である。市町村長におかれても、今後とも一層のご協力をお願い申し上げたい。